

議会だより



赤十字の心を広めよう

志免西小学校JRC (ジュニア・レッド・クロス)委員会

わが町のきらっとさん!

「気づき・考え・実行する」をスローガン



キャップ洗い

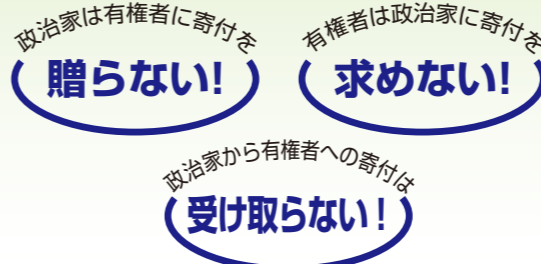
志免西小学校は、約千百人を超える人数の多い学校です。我が校の特徴として、JRC(ジュニア・レッド・クロス)活動があります。年度初めのJRC更新式では、日本赤十字の方から、青少年赤十字の意義のお話を聞くことにより、赤十字の一員としての自覚と、これからの活動への意欲を高めています。さらに、本校は全教育活動において、青少年赤十字の態度目標である「気づき・考え・実行する」をスローガンに、教育活動との関連を図っています。

主な取り組みとしては、「健康・安全」：朝の健康観察、集団下校、避難訓練。「国際理解・親善」：あいさつ運動、英語活動、仲良し集会、お別れ集会。「福祉」：志免西ピカピカ大作戦、赤い羽根共同募金、委員会活動、赤十字の募金、総合学習などがあります。JRC委員会は、青少年赤十字の心を広めていく為に発足した委員会です。プルタブやペットボトルキャップを集めたり、今年の五月には、「熊本の人たちのためにできることはないか」と考え、募金活動を行いました。募金は、四日間という短い期間でしたが、子どもたちをはじめ、たくさんの方のご協力をいただきました。小さな力が集まって大きな力になることを実感した募金活動でした。



募金活動

みんなで徹底しよう「三ない運動」
政治家の寄付は禁止
有権者が求めることも禁止



【議会広報特別委員会】

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|----|-------|------|--------|-----|---------|-------|
| 寺田 秀和 | 吉田 大作 | 野上 順子 | 丸山 真智子 | 委員 | 近藤 辰也 | 副委員長 | 牟田口 武史 | 委員長 | 大西 勇 議長 | 発行責任者 |
|-------|-------|-------|--------|----|-------|------|--------|-----|---------|-------|

お知らせ

傍聴に是非お越しく下さい。

次回の定例会は
12月2日予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しく下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070

議会事務局は町役場 4階です

メールアドレス: gikai@town.shime.lg.jp

9月定例会

- おおむね健全財政を保持
27年度一般会計決算 認定 2~3p
- 一般会計補正予算
4千159万円 増 4p
- 議会災害対応要綱など作成 7p
- 9人が一般質問 10~19p

7年連続基金(貯金)取り崩しなし おおむね健全財政を保持 一般会計136億9,000万円認定

9月
定例会

賛成多数で可決(賛成11人・反対1人) 欠席1人

- 【賛成】 近藤・寺田・牟田口・安河内・吉田・助村・丸山・牛房・古庄・大林・二宮
 【反対】 末藤
 【欠席】 野上

(単位：%)

| 町名 | 合計 |
|--------|-------|
| 1. 久山町 | 98.75 |
| 2. 新宮町 | 97.03 |
| 3. 粕屋町 | 96.39 |
| 4. 篠栗町 | 95.07 |
| 5. 志免町 | 94.75 |
| 6. 須恵町 | 94.46 |
| 7. 宇美町 | 92.64 |

※糟屋郡内各町の収納率を比較すると、現年度分は4位、滞納率は5位で、合計の順位は5位となっている。

平成27年度 糟屋郡各町 税収納実績比較表

町税の収入状況
 平成27年度の一般会計の実質収支額は5億6553万円の黒字。7年連続、基金取り崩しは行っていない。
 増。年度収入額より1803万円増。
 収納率は94.75%、と前年度を0.4ポイント上回っている。不納欠損は397万円。前年度より減少した。
 ※不納欠損とは、徴収できなかった滞納分の徴収金を消滅させること。

町税の収入状況

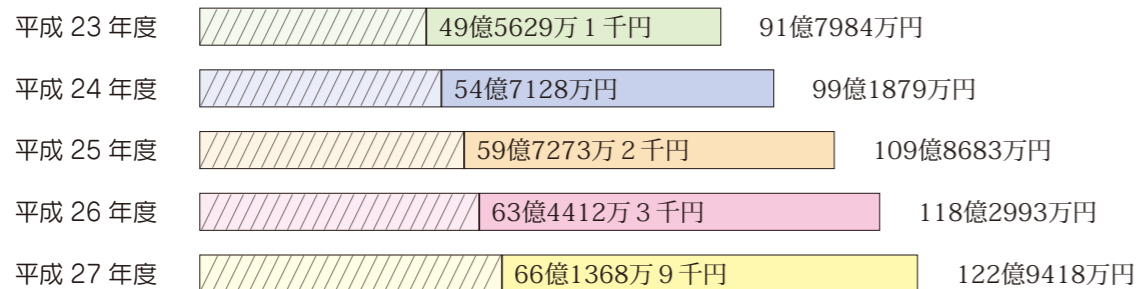
実質収支

平成27年度の一般会計の実質収支額は5億6553万円の黒字。7年連続、基金取り崩しは行っていない。

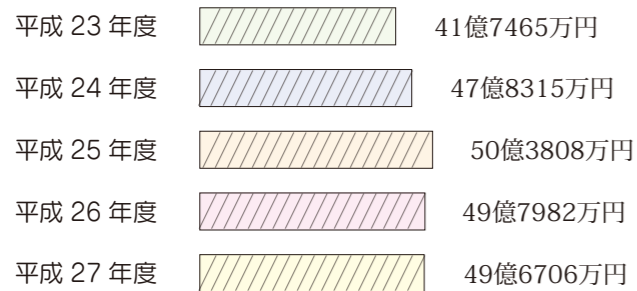
町債(借金)基金(貯金)

町債残高は約122億9418万円(臨時財政対策債66億1368万円)。年度末基金残高は49億6706万円。
 ※臨時財政対策債とは、地方交付税の代わりに借り入れが認められ、後で全額措置される。

過去5年間の町債の状況
 カラーの部分は臨時財政対策債



過去5年間の基金の状況



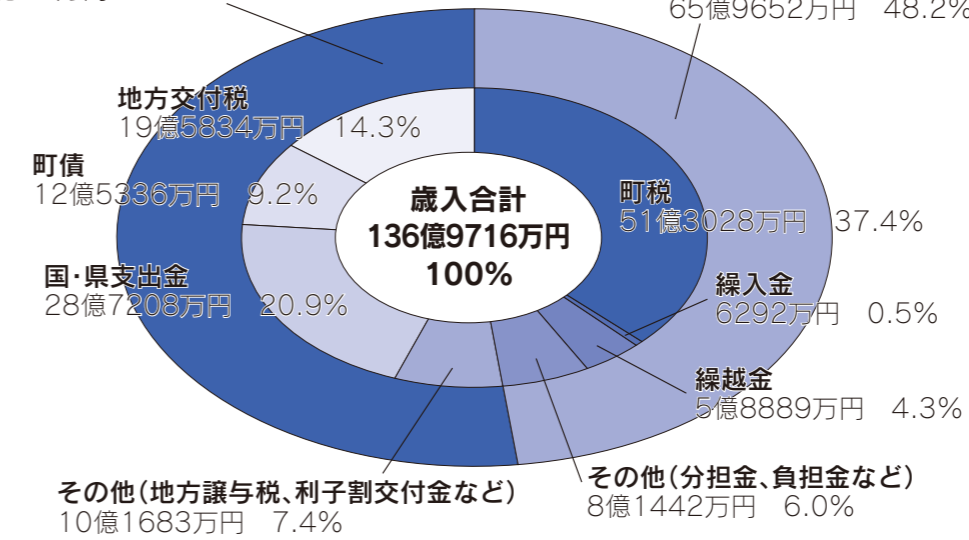
平成27年度特別会計

- 住宅新築資金貸付事業…(歳入) 1401万8609円 (歳出) 94万3079円 (全員賛成)
- 国民健康保険…(歳入) 53億3015万2281円 (歳出) 53億6748万7002円 (賛成多数)
- 後期高齢者医療…(歳入) 5億2589万9551円 (歳出) 5億258万4593円 (賛成多数)

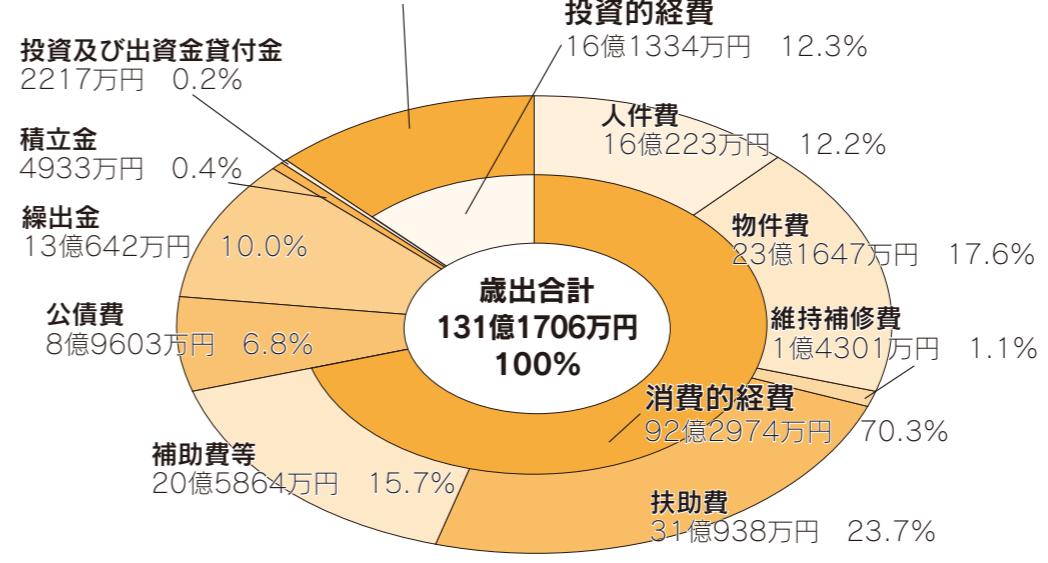
平成27年度公営企業会計

- 水道事業会計…(歳入) 9億5691万7565円 (歳出) 9億7173万4003円 (全員賛成)
- 下水道事業会計…(歳入) 10億9544万7780円 (歳出) 10億2181万5477円 (全員賛成)

依存財源 71億64万円 51.8%
 自主財源 65億9652万円 48.2%



普通建設事業費 16億1334万円 12.3%
 投資的経費 16億1334万円 12.3%



決算特別委員会

委員長 吉田議員 副委員長 寺田議員

決算審査は特別委員会を設置し、審査を行いました。

9月定例会は2日から21日までの20日間の会期で開かれました。
 議案13件を可決。教育委員会委員(3名)人権擁護委員(1名)の選任に同意。意見書1件否決。
 一般質問は9月5日から7日までの3日間で9人が行いました。

条例

志免町国民健康保険条例の一部を改正する条例

・日台民間租税取り決めに規定された内容を実施するために、国内法が整備されることとなったため

平成29年1月1日 施行

全員賛成

志免町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正
児童扶養手当法施行令において、8月1日から第2子、第3子以降の加算額が改正されたことに係る条項が追加されたため。

平成28年8月1日 施行

全員賛成

専決処分の承認を求めることについて
(国の法律が施行され、町議会を開催する時間的余裕がなかったため)

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
・個人番号の利用及び特定個人情報の提供に取扱い事務を追加するため
平成28年9月21日 施行

賛成多数

志免町土地開発公社の解散について

・土地の先行取得の利点がなくなり、保有地もなく今後事業を行う予定もないため

賛成多数

平成28年度一般会計補正予算

賛成多数で可決

4159万4千円増 総額126億3541万3千円

- 【賛成】 近藤、寺田、牟田口、安河内、吉田、助村、丸山、牛房、古庄、二宮、大林
- 【反対】 末藤
- 【欠席】 野上

補正の主なもの

- 統一的な基準による地方公会計システム構築業務委託料 **1119万5千円**
(一部特別交付税措置) 固定資産台帳の整備と複式簿記の導入を前提とした財務書類作成のためのシステム整備費用
- 業務効率化推進事業費補助金 **320万円**
(240万円)国庫支出金 私立認可保育園におけるICT化の推進と事故防止等のためのビデオカメラ設置に対する補助
- し尿収集運搬車架装助成金 **263万6千円**
し尿収集運搬車両入替えに伴うアルミパネル架装の助成金
- 下水排水路整備工事 **500万円**
老朽化により崩壊し、仮復旧中の水路の改修工事費用
- 保育実施負担金 **2566万6千円減**
平成28年度開園予定だった小規模保育施設分の減額。
- 国民健康保険特別会計繰出金(赤字補てん) **3733万5千円**
平成27年度の赤字額確定によるもの

平成28年度特別会計補正予算

- 国民健康保険・・・7042万円減 総額53億6652万4千円 (全員賛成)
後期高齢者支援金等の額の確定によるもの。
- 後期高齢者医療・・・2331万5千円増 総額5億3600万3千円 (賛成多数)
保険料等負担金等の額の確定によるもの。

定例会賛否結果表

| 議案名 | 平成28年度志免町一般会計補正予算 | | 平成28年度志免町国民健康保険特別会計補正予算 | | 平成28年度志免町後期高齢者医療特別会計補正予算 | | 平成27年度志免町水道事業会計剰余金の処分及び余金処分及び決算認定について | | 平成27年度志免町後期高齢者医療特別会計剰余金の処分及び決算認定について | | 平成27年度志免町国民健康保険特別会計剰余金入歳出決算認定について | | 平成27年度志免町新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について | | 平成27年度志免町一般会計歳入歳出決算認定について | |
|---|-------------------|------|-------------------------|------|--------------------------|------|---------------------------------------|------|--------------------------------------|------|-----------------------------------|------|------------------------------------|------|---------------------------|------|
| | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 | 賛成 | 反対 |
| 志免町土地開発公社の解散について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 志免町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 志免町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 採決結果 | 全員賛成 | 賛成多数 | 全員賛成 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 | 賛成多数 |
| 近藤 辰也 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 寺田 秀和 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 牟田口武史 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 安河内信宏 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 吉田 大作 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 助村千代子 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 野上 順子 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 | 欠 |
| 丸山真智子 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 牛房 良嗣 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 古庄信一郎 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 二宮美津代 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 大林 弘明 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 末藤 省三 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

動議

丸山副議長の不信任案を日程に追加する動議が提出される。

提出理由

学童保育に関して総務文教委員会も知らない、社会福祉協議会事業の委託を社協の理事の立場で熟知しながら、一般質問を行い、町より受託確約とも思える回答を引き出し、口ききとも捉えられる可能性がある。

賛成 牟田口・安河内
古庄・二宮

反対 近藤・寺田・吉田
助村・丸山・牛房
大林・末藤

欠席 野上

賛成少数で否決

意見書

介護保険制度の見直しを求めるもの

提出者 末藤議員

要望内容

「要介護1・2」を特別養護老人ホーム入所対象に戻すこと。
特養ホームの増設、介護報酬の引上げ、利用者負担軽減などを要請する。

賛成 末藤・大林・吉田
近藤・寺田・安河内

反対 古庄・牟田口・二宮
助村・牛房・丸山

欠席 野上

賛成少数(可否同数により、議長採決の結果)で否決

人事案件

教育委員会委員を選任

執行 喜砂雄氏

牟田口 朱美氏

立花 栄樹氏

人権擁護委員を推薦

清永 邦敏氏

最終日に町長より提案があり最終日に議会が同意しました。

議会運営委員会

第4回9月定例会について

会期は9月2日(金)から21日(水)までの20日間。

決算審査は議長、監査を除く全員で決算特別委員会を設置する。

人事案件は教育委員会委員3名と人権擁護委員1名の推薦を行う。

(委員長報告に対するQ&A)

Q. 6月議会で大林議長の議長辞職願いが可決されたが、理由の報告がなかったので経緯の報告を伺いたい。

A. 5月30日の議会運営委員会で議長から来年度の3月末の議長辞職表明に対し、委員より審議拒否の意思表示がなされ、休憩後、改めて6月3日をもって議長を辞任したいと表明があった。

Q. 会派を結成したがその旨の報告がない。
A. 志免町議会は会派制を取り入れていないので受理する性格のものではない。ただ、議会運営委員会でも勉強していきたい。

志免炭鉱ぼた山 対策特別委員会

7月11日に国鉄志免炭鉱ぼた山開発推進協議会の総会が開催され、27年度決算は全員賛成で、28年度予算は賛成多数で承認された。

自然活用型ぼた山開発については平成28年度の事業として測量業務を行うことを賛成多数で承認。

その他、(株)SNCに貸付けているぼた山用地の貸借地期限延長と貸付単価の据置き、須恵町に貸付けている粗大ごみ集積場の使用場所拡張の件、平成29年度の協議会予算への3町負担金の件について全員賛成で承認された。



ぼた山(志免・須恵・粕屋3町で所有)

議会広報特別委員会

広報委員会は 6月定例会終了後、しめ議会だより第79号作成にむけ7回の委員会を開きました。

(委員長報告に対するQ&A)

Q. 反省点はなかったのか

A. 「追跡あん質問」の項目で以前と同じ項目を扱った。

議会としての危機管理

「志免町議会災害対応要綱」と「災害時議員行動マニュアル」を作成。

災害発生時、自身の安全確保、地域の被災者の救助避難活動に努め、町民に対し知り得た情報を提供する。

又、各関係機関等へ適切な要望活動を行い、関係自治体と連携を図る様努める。

町の重要な課題

(太字は委員会の要望、要請)



活発に議論 住民交流会

認知症施策の推進については、「NPO法人ウエルフェアだんだん」が行う認知症カフェが事業を開始した。シームレス内レストランやみんなの家ゆずで行っている認知症カフェを含めて、認知症サポーターが活躍

**地域包括ケアシステム
認知症カフェ3ヶ所で開始**

厚生建設常任委員会



志免町教育振興基本計画

外国語の充実について、ALTの授業のあり方や派遣教師等について、中学校1名、小学校2名を継続し、指導を充実させている。今後、学校で工夫をしていく必要がある。災害時における、危機管理マニュアルについては、町の防災計画であり、今後、研修など行う。

**志免町教育振興基本計画
20の施策に目標値を設定**

総務文教常任委員会

学力向上のための、Q-U検査について、いじめや不登校、学級崩壊の早期発見につながるもので、年に2回実施している。同じ座標で子どもや学級を捉えることで、助かっているとの説明がありました。図書館の事業について、20の施策に入っていないが事務事業として推進していく。

Q-U検査とは
QUESTIONNAIRE-UTILITIESの略で、楽しい学校生活を送るためのアンケート。

**まちの魅力を町外に発信
レベルファイブスタジアムで志免町応援デー**

昨年度の「まち、ひと、しごと創生総合戦略」策定時に町外の人々にアンケートを行い、半数以上の人が志免町を知らないとの回答を受

できる場を増やしていくように提言した。

**住民交流会で地域課題を
論議**

住民主体サービス提供の体制構築については、今年2月に開催した地域包括ケアシステム構築の講演会に参加した人を中心に、地域課題の把握などについて論議する住民交流会を6月に開催した。今後、充実に努めたい。

委員会として、5月に視察した稲城市の「介護支援ボランティア制度」について、担当課に意見を求めた。志免町は無償ボランティアとして活動が活発であり、課題も多いとのことだが、引き続き調査、検討するように要請した。

**地域防災について
福祉避難所を一ヶ所追加**

自主防災組織は6月以降に1組織増え、22組織が結成されている。防災出前講座を9月中に2ヶ所予



防災出前講座

定している。福祉避難所についてはシームレスに加え、ふれあいセンターを県に登録した。いつ災害が起こるか分からない。防災、減災の取組みについては継続して行くことを担当課と共通の認識を深めた。



レベルファイブスタジアム

け、志免町を知ってもらったための事業を進めていく。その事業として志免町応援デーの開催をすることになった。志免町には、大型店舗や事業所がオープンしており、立地条件や利便性が志免町の魅力の一つである。委員より今後、町内外に対して時代に合った町の魅力を広く発信してほしいとの意見が出た。



吉田 大作 議員

生活弱者の駆け込み寺

答弁／安全安心な消費者生活の実現

生活安全課長 目的等を果たすため、講演会等で啓発物配

吉田 開設から一年半、手応えは。

生活安全課長 志免、宇美、須恵、粕屋、篠栗町の消費生活に関する情報の収集、提供。消費者相談、苦情の処理被害の防止、救済等町民の安全で安心できる消費者生活の実現に寄与することが目的。

吉田 かすや中南部広域消費者生活センターについて、設立から約一年半が経過した。当初の設立の目的、意図は。

生活安全課長 志免、宇美、須恵、粕屋、篠栗町の消費生活に関する情報の収集、提供。消費者相談、苦情の処理被害の防止、救済等町民の安全で安心できる消費者生活の実現に寄与することが目的。

生活安全課長 消費生活専門相談員6名、非常勤職員1名、センター長1名の計8名。

吉田 パンフレットに相談受け付け時間は10時から15時半とあるが、他の市町では、9時から17時、8時半から17時15分の所もあり、休憩時間なしでお困りの方の相談を受け付けているセンターもあるが、どう思うか。

生活安全課長 昼休みを相談に充てると人員等を増やさなくてはならない。

吉田 このセンターの需要は高まっていくと思う。事後対応より未然に防ぐ事が大事。いつ犯罪に巻き込まれ誰が



かすや中南部広域消費生活センターパンフレット

ズバリ町政を問う

吉田 大作 議員 ————— 11P

①生活弱者の駆け込み寺

助村千代子 議員 ————— 12P

①B型肝炎ワクチンに公費助成

牛房 良嗣 議員 ————— 13P

①子どもに英語の翼をもたせ世界へ

寺田 秀和 議員 ————— 14P

①消防団員と家族に応援
②公園は憩い、交流の場所です

古庄信一郎 議員 ————— 15P

①町の未来は郷土愛の醸成から
②歴史資料館を複合的に検討を

丸山真智子 議員 ————— 16P

①女性が活躍できる環境整備を
②公園が増え、もっと利活用を

二宮美津代 議員 ————— 17P

①スマートウェルネスシティへ

末藤 省三 議員 ————— 18P

①老人の実態調査と孤独死対策

牟田口武史 議員 ————— 19P

①高齢者に住みやすい町づくり

会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。
詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いたたすことです。
質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で※1問1答で行います。
※質疑、答弁を理解するまで繰り返し方法

被害の当事者になるか分からない時代。
情報が溢れ、知っている者が得をし、知らない者が損をすると言った収入格差同様、情報格差も十分起こっていると思う。
5町19万人の生活のためにこれからも頑張って頂きたい。

※桜は志免町花です



牛房 良嗣 議員

子どもに英語の翼をもたせ世界へ 答弁／「厳しい」「再度検討する」

牛房 志免町の子どもたちに「英語の翼」をもたせ世界へ飛び立たせるのは私たちの責務、2つの提言を。1つ目は志免町には公私立保育園幼稚園が16園、2000名の園児が元気に通園している。多くの園では自主的に週1回40分の英語学習に取り組んでいる。費用は保育料とは別に保護者、園の負担でまかなわれている。更に学習の向上をはかるため町の支援でALT（外国語指導助手、年間250万円）1名を採用配置し各園の巡回指導の支援を提言する。

町長 幼児の英語教育について

町長 他町の先進的取り組みをまねるのではなく、その上を行くようなことも含めて再

教育長 トップダウンでも可能だが、まずは学校現場の校長と話し合いながら考えてい。

ては再三のご提言を頂き必要性については十二分に理解している。しかし園によっては体力向上、体操を主体にしているところがあったり、又現在小学校の英語学習が5、6年生からで学習の継続性のないこともあり各園にて自主的にやってみて頂くことをお願いしている。

牛房 「幼児の英語教育へ尽力する」は町長の公約、町民の期待に応える取組を。2つ目の提言は志免町の「早期英語指定校」への認可申請を。小学校低学年からの英語学習については春日市、玄海町が既に取組み、来年からは那珂川町、大野城市、筑紫野市、太宰府市が指定校となる。前々から提言してきた志免町が筑紫地区に先を越され、非常に残念、早急の着手を。



ハウステンボス英語村

度教育委員会とこの件については煮詰めたい。

牛房 これからの10年20年先、福岡市と志免町をふくむ都市圏は間違いなく世界アジアの玄関口として国際化、グ

ローバル化の先進地となる。英語力の有無は天と地の格差となる。1年の遅れは子どもたちにとっては掛け替えのない損失、(1)(2)の早期実践を切望する。



助村 千代子 議員

B型肝炎ワクチンに公費助成 答弁／今後の課題と思う

助村 本年10月から、1歳未満の乳幼児に対して、B型肝炎ワクチンの定期予防接種が始まる。B型肝炎疾患の特徴から、乳幼児の時期にB型肝炎ウイルスに感染すると、持続感染状態キャリアに移行する確率は、1歳未満の場合は90%、1歳から4歳の場合は20%、50%の確率でキャリアに移行する。一度のキャリアになると、将来的に肝硬変や肝がんといった重篤な疾患につながるリスクが高い。定期接種対象者は平成28年4月生まれからの子どもでもそ

町長 始まったばかりで、今後の課題ではと思う。

任意接種は1回約6000円で3回接種。保護者の負担は重い。1歳児2歳児合せて1050人程の乳幼児に感染を防ぐために、一年間の限定的措置として、任意接種への公費助成を行う考えはないのか。

助村 保育園でも乳幼児の集団感染が起きている。3歳未満児が感染すると大半がキャリア化し、一生の問題。

健康課長 今のところ、公費負担は考えていない。



予防接種のパンフレット

助村 今だから言っている。1歳2歳の子どもに、この一年間に限り公費助成でワクチン接種を行うと次からは生まれてくる子どもは公費で定期接種なので、時限的措置を行えば、この時点から将来の肝がんを防ぐことができる。その

の思いで提案している。

町長 必要ということであれば、検討していきたい。

その他の質問
●胃がん予防にピロリ菌検査の導入について他

消防団員と家族に応援

答弁／地域や事業サポートで考える

寺田 消防団員は平成25年4月には87万人に割り込みそこで、志免町の消防団員の中で町内の団員数と町外の団員数は。

生活安全課長 団員数171名で町内団員は128名、町外団員は43名です。

寺田 町全体で消防団員と家族を応援、サポートしていくことができないか。

生活安全課長 応援サポートは商工会や飲食店組合などに問いかけはできるかと思いません。

寺田 職員の中に防災士の方は何人ぐらいいるのか。

生活安全課長 町内に14名中、職員は2人です。

寺田 今後、職員の方に防災士の資格を取るのを増やす考えはあるか。

生活安全課長 職員も消防団のOBの方も、受けたという方がいれば、おすすめしたいと思う。

寺田 自主防災組織の中にも防災士資格が取れるよう町と町内会に補助を働きかけるよう



県大会出場 消防団員

公園は憩い、交流の場所です

答弁／広範囲にしつかりと検証したい

寺田 鉄道公園に丘みたいなのがあり、向こうが見えない、どこからも見えるようにしていただきたい。

町長 現場の写真も撮って、しつかりと検討したい。

寺田 散水用の井戸を活用し、水遊びができる。改修される計画があるか。

都市整備課長 現状としては大変難しいところがある。

寺田 丘をせめて半分、向こ

うが見えるように。

町長 現地で担当職員も含めて拝見させていただき、できないは今回避けたい。現地を確認をしたい。



寺田 秀和 議員

町の未来は郷土愛の醸成から

答弁／町の魅力、文化を発信する

古庄 今年「第5次総合計画」の「後期基本計画」と町の「教育振興基本計画」が策定され、その基本政策として「郷土愛やふるさと意識向上を図る」と謳っている。また国の地方創生施策の柱も「郷土愛の醸成」だ。郷土愛をどう捉えるか。

町長 育った、また今住んでいる町をいかに愛し誇りを持つか、自慢できるかだ。

古庄 アンケートで志免町に住みたくな理由のトップが「町に魅力を感じない」で、「町の文化財や伝統文化を知っ

ている町民の割合」が38%、「これらに触れた町民の割合」15%。この実態をどう思うか。

町長 非常に残念だ。

古庄 今年、文化財に関する町のホームページ掲載等はたった1回。町民や団体は郷土愛の醸成活動を一生懸命展開しているのに、町はこれらを町民に知らせ、共有、協働する意識が全く欠けている。

町長 本当に恥ずかしい。コンテンツを取り進める。

古庄 郷土愛とキャリア教育

とに、乖離する部分もあるが、やはり郷土愛を持って地元においてほしい、帰ってきてほしい訳で、教育現場や民間団体と話をし、醸成活動をサポートすべき。

町長 しつかり応援をする。



志免町歴史資料室(生涯学習2号館)

歴史資料館を複合的に検討を

答弁／複合的1ヶ所集約を研究する

古庄 郷土愛醸成の中心が、遺産・文化財を集積する歴史資料館だが、志免町は、他自治体に比べ大変お粗末。資料保管は何力所に分散か。

社会教育課長 4ヶ所分散。

古庄 貴重な財産が分散し、見学も十分できない。議会は過去、資料館の検討すら反対した。これが志免町の文化、郷土愛への姿だ。庁舎内での拡大、マンション、図書館、公民館、道の駅、テーマ館等々、複合的な考え方もあり、

PFI他、民間の活力、資金考え方等々、導入の研究をすべき。

町長 1ヶ所で見られる体制が必要。今後研究したい。



古庄 信一郎 議員

女性が活躍できる環境整備を

答弁／対応を心がけて進めたい



丸山 真智子 議員

丸山 国で女性活躍推進法が4月に施行された。女性の管理職の割合に重点が置かれている。長時間労働を放置したまま、育児と介護もしながら女性に活躍して下さいと言われても無理がある。保育所の待機児対策と学童保育の充実が喫緊の課題。保育所の待機児童数は、子育て支援課長 45名です。

丸山 政府は待機児の解消を平成29年度末としていて、整備費が充実している。老朽化している町立保育園を建替えて定員を増やしたらどうか。

町長 4月の地震等を含めると、早急な建替えや定員を増やす打合せをしている。

丸山 学童保育は法律で6年生まで拡大されたが、どうするのか。

子育て支援課長 学童保育に対する要望を聞きながら考えたい。

丸山 夏休みのチャレンジ教室なども抽選になる状況。子育て世代に果たして選ばれる町になるのか。

学童保育の支援員の処遇改善も必要。国の予算で大幅に増額になっているが、申請されたのか。

子育て支援課長 資料がなく、後で回答する。

丸山 おやつも保護者の思いを受けとめて欲しい。

子育て支援課長 添加物の少ないものや果物にするなど工夫をしていきたい。

丸山 委託先が変更になるとのことだが、今よりも充実したものにしたい。

町長 保護者が運営されている現状を踏まえると、期待をしている。



町立亀山保育園

公園が増え、もっと活用を

答弁／受け身では前に進まない

丸山 水車橋公園の蛍水路に440万円、放流に42万円かけたが、蛍は飛んだのか。平成の森公園のキャンプ場も利用がほとんどない。

都市整備課長 今年確認できてない。

丸山 子ども、高齢者や障がいをお持ちの方も巻き込んで、公園の活用を話し合っ欲しい。

二宮 歩いて暮らせるまちづくり（住んでいるだけで健康になるまち）への見解。

町長 健康は歩くことから、車や交通機関を使わなくても、歩く範囲で自分の生活が賄えるまちだと思う。

二宮 車に乗れなくなっても外に出ていきやすいまち。行きたくなるような仕掛けが色々あるところがあるまち。歩きやすい仕組み、公共交通の整備が進んでいるまちにすることによって、住民が健康になり、年間の医療費が一人10万円の削減効果を上げてい

町長 車社会の今の状況をいかに変えるか。公共交通の課題もある。これから考えなければならぬ問題だ。

二宮 実践効果が出ており、歩くことで健康になる実証もされている。現在31都府県、63区市町の首長によるスマートウェルネスシティ（歩いて暮らせるまちづくり）の研究會が設立されている。情報は、町長 色々な首長研究会があつており、私は福祉自治体ユニットの研究會に参加したが、スマートウェルネスシティの情報も仕入れ、機会があれば参加したい。

二宮 高齢化の加速度的進行に伴う諸問題の解決にはスピード感を持って対応すべき。2025年問題も含め10年後を見据えた予防施策の徹底を。

町長 健康寿命を延伸する取り組みを積極的に進める。スマートウェルネスシティは先

進的な取り組みとして歩道の整備など歩いて行ける整備体制をしたい。

二宮 高齢者の外出を促す事業への取り組みは。

健康課長 歩くことを基本として推進している。色々なイベントの周知を徹底し外出を促している。

二宮 近隣市では高齢者がイ

ベントに参加するとポイントをつけ、景品や表彰制度もあり楽しみをプラスした事業が行われている。

町長 古賀市さんが今年から60歳に下げて行っておられるよう研究し進めたい。

- その他の質問
- アクティブシニアの育成（応援塾）の開催
- シニアバンク制度

スマートウェルネスシティへ

答弁／整備体制に取り組みたい



二宮 美津代 議員

町長 健康寿命を延伸する取り組みを積極的に進める。スマートウェルネスシティは先



スマートウェルネス構想
中心市街地構想
(内閣府地方創生推進事務局)



牟田口 武史 議員

高齢者に住みやすい町づくり

答弁／福祉、環境がそろった町

牟田口 高齢者にとって住みやすい町とは。

町長 高齢者の方が買い物するときに、出やすい環境、総合的に福祉、環境がそろっている町。

牟田口 志免町の交通手段は、県道68号線と、桜丘から市内へと流れるバスだけです。住宅地は別府片峰から、桜丘への丘陵地帯にあり、町内の東西の交通は、大変不便です。生活環境としては、車を持つている世代にとっては大変住みやすい環境です。車がない世代にとって非常に移

牟田口 志免はスーパーも病院もあり生活環境としては住みやすく、福岡市から近い利便性のある町です。交通機関がバスしかない点が弱点です。住宅の世代交代ですが、子どもさんが戻って一緒に住んである、世帯も増えています。

町長 タクシー協会や商工会を通じて、可能であれば行っていききたい。

牟田口 高齢者や買い物弱者のために、タクシー協会と各乗場の設置の呼びかけをしてみています。

町長 福祉巡回バスは、シーメイト、望山荘等を巡回しているが、買い物や病院への通院等への利用も全然問題がない。

牟田口 福祉バスを利用して買い物としては。
町長 アクセスが厳しいと認識して模索している。

動が大変ですが。



末藤 省三 議員

老人の実感調査と孤独死対策

答弁／実態調査は考えていない

末藤 要支援1と同2の訪問通所介護の質を支える介護報酬も過去最大規模で引き上げられた。
要介護1と2の新たな保険外しが進められている。
介護保険制度の基盤を揺るがす改悪が進められ、追いつめられたお年寄りが、昨年独居老人2人が亡くなり、さらに今年も2人亡くなられました。
こういう状況の元で追いつめられたお年寄りの孤独死問題、現実をみてどのように捉えているのか。

福祉課長 高齢者などが近隣

に気づかれずにお亡くなりになり、相当日数がたつてから発見されるとい、いわゆる孤立死、孤独死という痛ましい出来事が全国的にも続いていると認識している。この様なことがないように、孤独死、孤立死の対策について取り組む必要があると考えている。

末藤 再三65歳以上の方の実態調査を行うよう問題提起をしてきたが、調査は行ったのか。

福祉課長 高齢者施策を進めていく上では、課題を把握した上で、その対策をするなり施策を展開していくことになり、その実態調査が65歳以上を一件一件回って実態を調べる調査は考えていない。

末藤 そのような態度だから、昨年2人、今年2人、原因もつかめず、対策という言葉だけじゃありませんか。そのような把握をしていれば孤独死は生まれなと思うんです。なぜ調査をやらないのか。
町長 日々世帯の状況等が変わってくる。町の実態調査と

いうのは厳しい状況だと思っている。

末藤 このような状況で把握もしない対策もどうしているかわからないようでは、来年もまた孤独死を生むのではないのか。

町長 何も対策していないの

ではなく、地域で見守り体制とか、郵便局の職員の見回りとか、地域での見守りをぜひ強化していくように考えている。

末藤 どう強化するのか。

町長 地域の見守り体制を強化していく。



防ごう孤立死



3台の福祉巡回バス